

研修報告書(オンライン研修)

記入 | 2024年 9月

所属 | 文学部 1年生

研修先大学(国名)	中国科学技術大学
研修プログラム名	English Basic Writing of APRU Virtual Student Exchange Program
研修期間(受講日数)	6/30-8/30 (7月初旬に全講義動画受取り、週1回課題)

1. 研修前の準備(応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

<p>①応募動機</p> <p>留学に興味があり、読み書きの面でも語学を上達させたいと考えていた。また、大学生になり色々なことに挑戦してみようと思っていたため。</p> <p>②手続き</p> <p>APRU VSEの申し込みフォームの入力と、研修先の大学の承認が必要だった。フォームの入力で分からない点があり、大学の国際連携課にメールで相談させていただいた所、真摯に対応して下さった。</p> <p>③事前の語学対策 特になし</p>
--

2. 研修内容(内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

<p>①内容</p> <p>プログラムの最初に十数本の講義動画が送られてくる。適宜それを見て、効果的な writing とはどのようなものかを学ぶ。加えて、週に一度 writing assignment が課される。それに対して、中国科学技術大学の先生が、表現や内容に関するフィードバックをくださる。フィードバックに対する質問も可能。</p> <p>②感想</p> <p>講義で上げられる具体例が、小説などの、洗練された活きた英文から引かれていることが効果的と感じた。それにより、自分の英文の表現の稚拙さや文構造の工夫のなさを実感した。また、講義の中には、表現や文構造だけでなく essay (評論や短編小説など) 全体について解説するものがあり、そこでは、essay 全体での論理の一貫性や idea の繋ぎ方について、上手い英文を参考に学ぶことができた。それにより、自分の essay の分かりにくさがどこにあるのかについて自覚的になることができた。</p> <p>また、動画は対面授業と異なり何度でも見返すことができるので、理解してから先に進むことができるのは良い点だった。</p> <p>中国科学技術大学からのフィードバックでは、文法や語法のミスだけでなく、英語でのより自然な、適切な表現や、伝わりやすい文構造について指摘していただいた。</p> <p>③学生同士の交流 なし</p>
--

3. 環境（オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど）

Wi-Fiがあれば、オンライン環境に問題はなかった。時差についても、リアルタイムで講義を受けるわけではないので、特に関係はない。

4. 研修を終えて感じること&研修申込を考えている学生へのメッセージ

普通の大学の英語の授業では、恥ずかしながら学ぶ意欲があまりなかった。授業を大学から与えられたものと捉えており、英語能力を上げる責任も欲求も感じずに受け身で過ごしてしまっていた。一方、このプログラムでは、自分で申し込んだ以上、向上できるかできないかの責任は自分にあると考えていたこともあり努力につながった。結果、プログラムの前と後では、文構造や一貫性の点で writing を改善することができたと感じている。また、writing についてきちんと向き合うことを通して、普通の英語の授業の意義や受け方を考え直すきっかけにもなった。

Writing 能力を上げたいけどやる気が続かないし書き方も良く分からないという人は、一度このプログラムを利用していてもいいかもしれない。私のように、申し込んだ責任が、努力することのカンフル剤となってくれるかもしれないし、それを通して努力の方向性が見つかるかもしれない。また、中国科学技術大学からのフィードバックはかなりの的を射たものなので、書き方の勉強になると思う。

そういう人でなくても、単に writing 能力を上げたい、writing に対するフィードバックや質問できる場が欲しい、活きた英文から活きた表現や文構造や論理性を学びたいという方は受講すると良いと思う。

5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	0円	
その他（通信費など）	(Wi-Fi環境の場合) 0円	
奨学金・協定校割引	0円	
計	0円	

6. 自由記述欄 *おすすめ情報や研修エピソードなど書いてください。写真や資料添付も歓迎します。